報道発表(お知らせ)

- NICT発ベンチャー企業がPCの自動暗号化ソフトを無償提供 -汎用USBメモリがPCの鍵に変身
- 平成17年10月18日

独立行政法人情報通信研究機構(以下NICT。理事長: 長尾 真)発ベンチャー企業である(株)カオスウェア(注1)は、汎用のUSBメモリをPCの鍵のように扱うことにより、暗号・復号化するソフトウェア(以下「CIPHERON Initiative」。)を一般ユーザー対象に無償提供(*)します。

このソフトウェアはUSBメモリに常駐させ、USBメモリをPCから抜くだけでPC内の指定ファイルが自動的に暗号化され、これをPCに再挿入するだけで復号化することができます。

PC内の重要な情報は、USBメモリを抜いておけば、PCを盗まれても情報が漏洩することはありません。この暗号化技術には、NICTの特許である高速暗号VSC技術(注2)を利用しており、高速であることに加え、操作が極めて簡単なため、利用者に暗号・復号化を意識させません。

今回、同社は当ソフトウェアの無償ダウンロードサービスを開始しました。このCIPHERON Initiative無償ダウンロードによって"暗号化"及び"復号化"という情報保護対策上基本となる操作が、一般ユーザーにとって簡単に実行できることから、情報漏洩防止に役立つことが期待されています。

* http://www.chaosware.com/ci_download.html ←無償版ダウンロードはこちらから

<今後の展開>

(株)カオスウェアは、本製品に加えて、IPネットワークのLAN接続コネクタの抜き差しで自動暗号・復号化するネットワーク版製品の完成も目指しており、ネットワーク利用環境下での普及が期待されます。NICTでは、今後も研究成果の産業界への普及の一環として産業界と連携した技術移転を推進するとともに、NICT研究成果を実用化する情報通信ベンチャー企業の支援を行います。

注) 当無償提供ソフトのご使用時に発生したトラブルに関しまして、NICT及びカオスウェアは一切責任を追いかねますこと、お断り申し上げます。

<問い合わせ先> 情報通信研究機構 総務部 広報室 奥山 利幸、大野 由樹子 Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587 <担当部門問い合わせ先> 情報通信研究機構 総合企画部 知財・産学連携室 澤田史武

Tel: 042-327-7464, Fax: 042-327-6659

【用語説明】

注1. (株)カオスウェア

NICTベンチャーの第一号で、平成15年8月、情報通信部門超高速フォトニックネットワークグループ主任研究員の梅野健が、研究成果の実用化・普及を図るため所内ベンチャー起業支援制度(プレベンチャー制度)を活用し設立した会社。カオス理論による、高速暗号化技術により、情報セキュリティー関連の商品化を行っている。

注2. VSC(ブイ・エス・シー)

ブイ・エス・シー、Vector Stream Cipher=ベクター・ストリーム・サイファー=の略。 複数のランダムビット列を並列的に生成することにより軽いプログラムサイズで携帯電話からHDTV(デジタルハイビジョンテレビ)といったプラットフォーム非依存で高速かつリアルタイムな暗号化が可能な暗号処理方法。

VSCは、平成12年に、ジャパン・インフォメーション・テクノロジー社へライセンスが行われ、(商品名: eCipherGate=イーサイファーゲート=)大手ビデオ店の顧客データベースセキュリティシステムに活用されている。又、平成16年には、ソフトバンクテクノロジー社との共同開発でソフトウェア開発キット化(商品名:VSCAT=ブイスキャット)され、国内最大手のこども写真館のデジタル写真のインターネット配信における暗号化に使われている。国内外の産学官のメンバーから構成されるVSCコンソーシアムにおいて、VSCの実用化と普及、及び啓蒙活動を行っている。

補足資料2

〈無償ダウンロードの対象となるソフトウェアの機能〉

